住友林業グループの経営理念・行動指針



経営理念

住友林業グループは、公正、信用を重視し 社会を利するという「住友の事業精神」に基づき、 人と地球環境にやさしい「木」を活かし、 人々の生活に関するあらゆるサービスを通じて、 持続可能で豊かな社会の実現に貢献します。

行動指針

お客様の感動を生む、高品質の商品・サービスを提供します。

新たな視点で、次代の幸福に繋がる仕事を創造します。

多様性を尊重し、自由闊達な企業風土をつくります。

日々研鑽を積み、自ら高い目標に挑戦します。

正々堂々と行動し、社会に信頼される仕事をします。

住友林業グループ倫理規範

目的ならびに適用範囲

住友林業グループは、経営理念ならびに行動指針に基づき、 サプライチェーンも含め、本倫理規範に則った企業運営を行います。

■公正かつ透明性のある 企業活動	■良識ある行動	■人間尊重と健全な職場の実現	■社会や環境に配慮した事業活動
1.法令・規則の遵守	15. 利益相反の回避	20. 人権の尊重	30. 顧客満足と安全
2.腐敗防止	16. 会社資産の流用禁止	21. 差別の禁止と多様性の確保	31. 環境共生
3.公正な取引	17. インサイダー取引の禁止		32. 地域社会への貢献
4.公正な会計処理	18. 節度ある贈答、接待	22. 強制労働、児童労働の 禁止	
5.ステークホルダーとの コミュニケーション	19. 政治・宗教活動の禁止	23. 結社の自由と団体交渉権	
6.機密保持		24. 適切な労働時間と賃金	
7.情報セキュリティ		25. ワークライフバランスの 確保	
8.取引先との関係		26. 労働安全衛生	
9.知的財産の保護		27. 人財の育成	
10.個人情報の保護		28. ハラスメントの禁止	
11.責任ある広告宣伝		29. プライバシーの保護	
12.健全な政治との関係		25.5517.15	
13.反社会的勢力の遮断			
14.通報窓□の設置			

住友林業グループ倫理規範

https://sfc.jp/information/company/keiei_rinen/rinri_kihan/



2 住友林業株式会社 統合報告書 2024 統合報告書 2024

価値創造ストーリー ~住友林業グループのサステナビリティ経営~

「住友林業グループは、公正、信用を重視し社会を利するという『住友の事業精神』に基づき、人と地球環境に やさしい『木』を活かし、人々の生活に関するあらゆるサービスを通じて、持続可能で豊かな社会の実現に貢献します。」という経営理念を定め、サステナブルな経営を行っています。

2022年2月には、2030年のあるべき姿を見据えた長期ビジョン [Mission TREEING 2030] を策定し、「地球環境」 「人と社会」 「市場経済」 の3つの視点から、9つの重要課題を特定しました。 「木」 を軸にしたバリューチェーンである 「ウッドサイクル」 を回す事業活動を通じて、成長拡大と脱炭素社会の実現を目指しています。

経営理念 🔐

長期ビジョン OP.22

Mission TREEING 2030

~地球を、快適な住まいとして受け継いでいくために~

私たちは、地球環境、人々の暮らしや社会、市場や経済活動に価値を提供することで、将来世代を含むあらゆる人々やすべての生き物に、地球が快適な住まいとして受け継がれていくことを目指します。これまでも強みとしてきた「森」と「木」の価値を活かし、深め、新たな未来の力へと変えていきます。

「Mission TREEING 2030」 達成に向けた事業方針

- 1 森と木の価値を最大限に活かした脱炭素化と サーキュラーバイオエコノミーの確立
- 2 グローバル展開の進化
- 3 変革と新たな価値創造への挑戦
- 4 成長に向けた事業基盤の改革

経営のマテリアリティ

9つの重要課題 **○**P.52

中期経営計画 「Mission TREEING 2030 Phase1」

(2022年12月期~2024年12月期)

将来の成長と脱炭素化への貢献に向けた基盤をつくる3年

基本方針

- 1 木材資源の活用による脱炭素化への挑戦
- 2 収益基盤の強靭化の推進
- 3 グローバル展開の加速
- 4 持続的成長に向けた経営基盤の強化
- 5 事業とESGの更なる一体化

P.41





※ パネル設計から、製造、配送、施工までを一貫して提供するFully Integrated Turn key Provider (FITP) 事業。

4 住友林業株式会社 統合報告書 2024 **5**